

## 雑誌『Visions』制作と学び

### 1. はじめに

跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科の選択科目「ライティング特殊演習」を履修した学生が制作する雑誌『Visions』の作り方と得た学びに焦点を当てて、紹介する。

- ターゲット  
現代文化表現学科の在学生、跡見学園女子大学への進学を希望する受験生
- コンセプト  
学生が授業で学んだ考える力、表現する技術を“現場で生かす場”とする。  
現代文化表現学科で学んだことを活かせる職業紹介
- 『Visions』の特徴
  - ① プロフェッショナルと共に雑誌制作を行える
  - ② 2010年から13号継続して発刊している

### 2. 内容

#### 1) 2024年版テーマ

テーマ：「日本初のeスポーツ国際大会を盛り上げるスタッフの仕事」  
上記のテーマに沿い、eスポーツのチーム運営やストリーマー育成、ファッション事業など幅広い活動を展開するeスポーツ会社「FENNEL」を主な取材対象とし、FENNELが主催する日本初のeスポーツ国際大会「FFLGGC」大会に関わった人々に取材を行った。

#### 2) 制作プロセス

1.情報収集 2. 下調べ企画会議 3. 担当ページ・スタッフ決定 4. 下調べ・ページラフ作成  
※1 5. デザイナー打ち合わせ・ページ構成決定※2 6. 企画書作成・カメラマンと打ち合わせ  
7. 取材・撮影手配※3 8. 取材・撮影 9. 写真選び・ラフ制作・レイアウト回し※4 10.  
入稿・文字校正 11.色校正・校了・雑誌発送

※1 ページの設計図であるラフレイアウト作成には多くの時間を費やして制作する。グループで話し合いを重ね、読者が一目で見てわかる雑誌を目指してラフレイアウト作成している。

※2 ラフレイアウト作成が終わるとデザイナー事務所に赴き、具体的なページの中身を打ち合わせで詰めていく。おおまかなページ構成はこの時点で決定する。

※3 取材申込書を作成し、実際に取材対象者と直接連絡を取りながらアポイントメントを取る。取材日にはカメラマンが同行し、取材中の写真やプロフィールで使用する写真撮影を行う。

※4 9・10の工程では『Visions』制作にあたり最も多くの時間を費やす。原稿書きではわかり

やすい文を書くのと同時に、正しい言葉遣いであるかどうか・ページ構成に適した文量になっているか各々が深く考えながら原稿書きを行った。原稿は校閲者の方に校正していただき、より正確で正しい文章を制作していく。

### 3. 『Visions』を通して学生が学んだこと

寺尾：壁にぶつかった際、すぐに別の方法を考えられる柔軟性

徳永：情報を社会へ発信することに対する責任の重さ

中村（茉）：自分1人だけでなく多くの人と関わり、協力しながら一つのものを作り上げる  
楽しさ

中村（悠）：【いい文章】を作り上げる大変さを知ることが出来る

米村：自分の伝えたいことを決められた字数の中で文章にする難しさ

橋本：インタビューから原稿の作成、校正までを自身で行い、本格的に1冊の雑誌製作に向き合う大変さと面白さ

### 4. 終わりに

『Visions』でのプロフェッショナルと関わりながらの制作を通じて履修者それぞれが座学だけでは学べない、大学ならではの教育効果を得ることができた。本授業を受講した24人全員が有意義な時間を過ごすことができたと思う。